

みち
道

平成28年 11月

発行：
 (社福) 東京都社会福祉事業団
 東京都東村山福祉園

メール mail@higashimurayama-f.org ホームページ <http://higashimurayama-f.org>

ひがしむらやまふくしえんさい かいさい
東村山福祉園祭を開催しました！

えんさいじっこういんかい
 園祭実行委員会

「笑顔で ひろがる 地域の輪」をテーマに、9月24日、第41回の園祭を行いました。盛大に行う事が出来たのも、地域の皆様と、模擬店に参加頂いた事業所の方々、ボランティアの方々、ご家族の方々、ステージに参加頂いた皆様のご協力あっての事と感謝しております。400名を超える皆様にお越しいただき、園内がとてにぎわっていました。園祭実行委員会を発足してから、委員一同力を合わせて進めてきました。当日までの準備は大変な事もありましたが、利用者さんの笑顔を見ることができ、大変うれしく思いました。利用者数160名での園祭は今年で最後となりますが、来年も形を変えて、引き続き園祭を開催していきたいと考えています。ありがとうございました。



だいす
大好き♪バーベキュー！

サービ第2係・サービ第5係

10月15日、2棟・5棟の棟企画行事でバーベキューを行いました。今年は天気も良く、気温20度を超えるポカポカとした陽気の中、棟庭も使って実施しました。みんなで焼いたお肉や野菜等を、ワイワイしながら楽しく食べました。おかわりもたくさん食べ、2棟の炊飯器がいつのまにか空になりました。また当日はおやつにケーキもあり、5棟の皆様



はそちらも美味しそうに召し上がっていました。ご家族の方も参加していただき、利用者の皆様にとって楽しい食事の時間となることができました。



希望の郷 東村山（仮称）の建設工事が始まりました

管理運営係

社会福祉法人東京都社会福祉事業団 希望の郷 東村山（仮称）新築工事の入札を平成28年9月28日に実施し、株式会社鴻池組が落札し施工者に決定しました。

10月10日及び11日には、建設説明会を開催し、いよいよ、希望の郷 東村山（仮称）の建設工事が始まりました。工事期間中は近隣の皆様にご迷惑をおかけすることとなりますが、安全には十分配慮して工事をしていきます。開設時には御利用者様をはじめ御家族や近隣の皆様にとっても、素晴らしい施設とおっしゃっていただけるような施設をソフト・ハードの両面から職員一丸となって造ってまいりますので、引き続き御理解・御協力をよろしくお願い致します。



なお、工事の概要は次のとおりです。

- 1 工事件名**
社会福祉法人東京都社会福祉事業団 希望の郷 東村山（仮称）新築工事
- 2 施工主**
社会福祉法人東京都社会福祉事業団
- 3 所在地（工事場所）**
東京都東村山市萩山町一丁目35番1号
- 4 構造等**
鉄筋コンクリート造 地上2階建
延床面積 8,084.94㎡
- 5 設計監理** 株式会社新環境設計
- 6 施工者** 株式会社鴻池組 東京本店
- 7 工期**
平成28年10月13日～
平成30年1月31日
- 8 事業内容・定員**
障害者支援施設：80人（入所）
短期入所事業：10人
生活介護事業：110人（うち通所30人）
相談支援事業
- 9 開設時期（予定）** 平成30年4月
- 10 園内駐車場**
本工事の施工に伴い、園内駐車場の駐車可能台数が減少します（最大9台）。当園にお越しになる際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

お知らせ

- ♥12月17日（土）家族会を行います。また、クリスマス会を行います。家族会についての詳細は事業推進係へ、クリスマス会についての詳細は各棟にお問い合わせください。
- ♥12月23日（祝）午後2時から3時の間、クリスマスコンサートをデイセンター体育室にて開催します。小平高校の生徒のみなさんによる演奏です！ぜひご来園ください。
- ♥駐車場が工事によって少なくなっています。ご来園の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



じどうとうしゅくはくぎょうじ おこな 児童棟宿泊行事を行いました

じどうとうしゅくはくぎょうじたんとう
児童棟宿泊行事担当

ことは、じゅうすうねん じどうとうしゅくはくぎょうじ おこな
今年、十数年ぶりの児童棟宿泊行事を行いました！
かくじどうとう めいさんか じどうとうしゅくはくぎょうじ おこな
各児童棟から5～6名参加していただき、職員も合わせて総勢
37名で10/8(土)～9(日)に山梨県の河口湖方面に行ってきた。
さんれんきゅう いどうじかん こうてい きくば
三連休ということもあり、移動時間、行程には気を配り
ました。こうていちゅう おお じゅうたい ま こ
行程中、大きな渋滞に巻き込まれることはありません
でした。

いちにちめ やまなしけん ふじさんせかいいざん い ふじさんかんけい
1日目は『山梨県富士山世界遺産センター』に行き、富士山関係
の展示物などを楽しみました。見て回っているうちにふあつ くも
の合間から太陽が！そのまま晴天になったので、急遽河口湖に
あいま たいよう せいてん せいてん きゅうきよかわくち
行き遊覧船『アンソレイユ号』に乗りました！初めて船に乗り、
こわ かなた かしや いま したが、皆さん良い風を浴び
て気持ち良さそうでした。しゅくはくさき ふじさんみどり きゅうかわら
宿泊先は『富士山緑の休暇村』で
す。ふうろ も 広く、しょくじ は バイク形式で、それぞれ好きな物をたくさん召し上がって満足
されていました。

いちにちめ ふじきゅう こさめ ふ
2日目は『富士急ハイランド』へ！小雨が降っていたため、ジェットコースターなどは乗
れませんでした。いろいろのもの みなさまは楽しまれました。
らいねん きかく けいかくちゅう たの
来年の企画も計画中です。お楽しみに！

げんき ある ワディ・ウォーキング 元気に歩きました！

ワディ・ウォーキング たんとう
担当

へいせい ねん がつ にち おこな
平成28年11月2日、ワディ・ウォーキングを行いました。
りようしゃ みなさま は、ば えがお げんき ある
利用者の皆様は晴れ晴れとした笑顔で、元気いっぱい歩きました。ウォーキング付き添
いの職員も一緒です。かく ちゅうおうこうえん りようしゃ みなさま はやはや どうちやく そと
各チェックポイントや中央公園に利用者の皆様は早々と到着。外で
た べんとう おい
食べるお弁当の美味しいこと！

みな おも つう ふう あめ ふ
皆の想いが通じたのか、雨は降りませんでした！しかし、とにかく寒い一日でした。りようしゃ
みなさま は、お揃いのオレンジ色のTシャツや上着を重ね着し、ぼうかんたいさく だんけつりよく
防寒対策と団結力はバッチ
リ♪それぞれ無理のない距離を歩き、無事に園に戻ることができました。

えんない ぐみ りようしゃ みなさま
園内ウォーキング・ソフトエアロビ組の利用者の皆様も、それぞれのペースに合わせて体
うご せんない かし
を動かしました。園内チェックポイントで、カードにスタンプをもらい、お菓子とジュース
をもらおうと、みなさまニッコリ～♪

えん あたた しろこ みな
園で温かいお汁粉とコーンスープが皆にふるまわれ、ほっと一息。沢山からだ うご
みなさま よる ねむ ようす みなさま きょうりよく
皆様は、その夜ぐっすり眠れた様子でした。皆様ご協力ありがとうございました。



からんどりえ展を開催しました

かつどうしえんかかり
活動支援係

例年恒例となっております『からんどりえ展』が、11月3日から11月8日まで、小平駅前「白矢アートスペース」にて開催されました。「からんどりえ」とは、フランス語で「白めくりカレンダー」を意味します。日々東村山福祉園の利用者の皆様＝作家の皆様と積み重ねてきた活動を「白めくりカレンダー」になぞらえて、絵画展を「からんどりえ展」と命名してから、今年で7回目の開催となりました。



今年も作家の皆様の個性・感性豊かな作品約400点が、ギャラリーに“これでもか”と言わんばかりに熱いエネルギーを放ち、「迫力に圧倒された」、「生きるための力強さに満ち溢れている」とのお褒めの言葉を来館者の皆様から多くいただきました。ありがとうございます。これからも作家の皆様の感性豊かな作品を多くの方々に見ていただけるよう、さまざまな工夫や企画をしていきたいと考えております。

今後とも「からんどりえ」の作家の皆様の作品にご期待ください。よろしくお願ひいたします。



東村山福祉園成人棟の一日

サービス第1係

成人の利用者の皆様の生活の様子を、少しご紹介いたします。

朝は、起きた方からリビングでソファに座ったり体を動かしたりして自分のスタイルに合った過ごし方をされています。朝食は栄養管理が行き届いた食事を提供しています。からあげは人気メニューのひとつです。

日中は利用者の皆様の好みに応じて活動を提供しています。作業をしたり体を動かしたりマッサージを受けたり…。皆様それぞれの活動場所で思い思いに過ごされています。

1日の活動を終わると、1棟に戻り日替わりのおやつとコーヒーやお茶を召し上がっていただきます。皆さんでくつろぐひとときです。その後はお風呂にゆっくりと浸かります。

夕食を食べた後は、TVを見たり音楽を聴いたり、それぞれの余暇をゆったりと過ごされます。あまり遅くならないうちに、翌日に備えて順次就寝されます。

その他、土日や活動がお休みの時は散歩に出掛けたり買い物をしたりと、利用者の皆様楽しんでる予定を組んでいます。

当園は、2つの成人施設と1つの児童施設に再編成されますが、どの利用者の方もスムーズに新施設に移行できるよう、支援ノウハウの引き継ぎをしっかりと行っていきます。